

吾妻山砂防通信

第38号



吾妻連峰・鎌沼と周辺に咲く可愛らしい花
(*14/6/21撮影)



砂防を知ろう！ 荒川第1 & 第5砂防堰堤

おすすめスポット② 登録有形文化財の「砂防堰堤」を見に行こう！

土砂災害の防止・被害の軽減に大きな役割を果たしている「砂防堰堤(さぼうえんてい)」。その多くは山の中にあるため、実際に目にしたことのある方は多くないかもしれません。そこで今回は、当出張所管内の砂防堰堤のなかでも、車で近くまで行くことができる場所をご紹介します。

荒川と塩の川の合流地点のすぐ下流にある荒川第5堰堤と、その約400m上流に位置する荒川第1堰堤は、登録有形文化財として登録されています。数年前までは、斜面を登ったり川の中を歩かないとたどり着くことができませんでした。しかし、平成24~25年度に行った堰堤の補修工事で管理用道路の整備を行ったため、現在では気軽に訪れることができるようになっています。



昭和12年7月31日完成の荒川流域で最も古い砂防堰堤です。堰堤右岸側に、「昭和12年」の銘が確認できます。



高さが12m、長さが150mあり、荒川流域で施工規模が最も大きい砂防堰堤です(昭和29年3月31日完成)。

荒川遊砂地の駐車スペースから荒川第1堰堤までのんびり歩いて15分程度。歩きやすい靴で、出かけてみませんか？
60年以上、福島県の街を土砂災害から守り続けている先人の技術を、間近に見学することができますよ。

現地見学の際は、安全に十分ご注意ください。



荒川を学ぶ

水保小学校で出前講座をおこないました

6月20日、福島市立水保小学校で、4、5、6年生の55名を対象とした出前講座をおこないました。

講座の前半は、伏黒出張所の郷家所長が、荒川に棲む生き物や治水の歴史、水辺で遊ぶときの注意点等について説明しました。後半は、いったん屋外に移動し、土石流の模型実験を見学。土石流のもつ破壊力や、砂防堰堤の働きを実際に目でみてもらったあとで、当出張所の佐藤所長が、荒川で行っている砂防の仕事について、土砂災害から身を守る方法などとあわせて、講義を行いました。

ふるさとの身近な川「荒川」について、理解を深め、より親しんでもらうきっかけになったのではないのでしょうか。



模型実験は、1～3年生にも見学してもらいました。
土石流のこわさ、よくわかったかな？



荒川を守る

荒川クリーンアップ大作戦

5月31日、「荒川クリーンアップ大作」と銘打って、荒川沿い5箇所清掃活動が行われました。



当出張所のメンバーが参加した大暗渠付近は、翌日開催の「ふるさとの川・あらかわウォーキング」



のコースの一部。ウォーカーのみなさんに気持ちよく歩いてもらうためにも、除草やゴミ拾いに精を出しました。

次回は、**10月18日(土)の予定です。**

◆お問い合わせ◆ふるさとの川・荒川づくり協議会(024-593-3525)方にお立ち寄りいただきました。

荒川を楽しむ

ふるさとの川・あらかわウォーキング



(左)土石流の破壊力にびっくり!
(下)パネル展示の様子。
質問もいただきました。



6月1日、四季の里をスタート・ゴール地点として荒川沿いを歩く「ふるさとの川・あらかわウォーキング」が開催されました。最高気温30度を超える暑い1日でしたが、ウォーカーのみなさんはそれぞれに荒川沿いの自然を満喫されたようです。

当出張所で行った土石流模型実験やパネル展示にも多くの

4年連続 荒川が水質「最も良好な河川」!

国土交通省では、毎年、管理する一級河川の水質調査を実施しています。

7月22日、平成25年の水質調査の結果が発表になり、荒川が4年連続で全国の水質「最も良好な河川」になりました。これも、日頃から地域のみなさんに荒川を大切にしていたのおかげです。

引き続き、ご協力よろしくおねがいいたします。

模型実験やります! 福島防災フェア2014

- 日時 : 9月7日(日) 10時~15時
- 場所 : 四季の里(福島市荒井)

防災と天気について楽しく学べるイベントです。土石流模型実験のほかにも、実験・工作コーナーや消防車両の展示、炊き出しの試食もありますよ!

【問い合わせ先】

福島地方気象台 024-534-2162

お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想

・砂防に関すること)

模型実験見学受付中!

国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL 024-591-1207

◆福島河川国道事務所HP(<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>)も是非ご覧下さい◆